

投稿規定

1. 本誌は病跡学に関する論文、資料、その他を掲載する。
 2. 投稿は原則として本会会員に限る。
 3. 原稿の採否は編集委員会が決定する。
 4. 原稿は、A4版用紙に横書きで1枚40字×30行とし、ワードプロセッサを使用する。新かな、常用漢字、算用数字を用い、「である」調で書くこと。
 5. 原著は原則として400字詰原稿用紙換算40枚程度まで、研究短報は15枚以内とし、原著には400字程度の和文抄録をつける。また、図版は5枚以内とし、図表1枚は400字詰原稿用紙1枚と換算の上、規定枚数に含める。なお、投稿に際しては、1部をプリントアウトして提出し、受理時にdoc、docx、rtfなど汎用性のあるファイル形式で提出できるようにしておくこと。
 6. 研究短報は、原著の体裁を満たさないが、時事性、希少性などにおいて報告の価値があるものの、報告が急がれるものに限る。
 7. 図版に説明文を付記する場合は、図版1枚につき200字以内とする。
 8. 図版は原則として白黒とするが、カラー写真（編集委員会が認めたものに限る）の場合は実費を投稿者が負担する。カラー掲載を希望する場合は投稿時にそのむね明記すること。
 9. 原稿のはじめには題名、執筆者名、所属の順で記載し、併せてそれぞれの英文を添える。
 10. 外国の人名、地名などは邦語を用い、必要に応じて（ ）内に原語を入れる。
 11. 引用文献は、雑誌の場合は、著者名（多数の場合は最初の3名を記し、A、B、Cほかとする）：表題、誌名（医学雑誌の場合はIndex Medicus、医学中央雑誌に従う）、巻数；頁の始めと終わり、刊行年、を、単行本の場合は、著者名：論文名、編者名（多数の場合は最初の2名を記し、A、Bほかとする）：書名、発行書店名、発行地、頁の始めと終わり、刊行年、を記載し、著者名の邦字、外字を問わず、アルファベット順に配列する。引用個所の頁を個々に指示する場合は、本文中の引用順とする。
- 例：1）Alvarez, J. : Neuronal hypersynchronization, creativity, and endogenous psychoses. Med. Hypotheses, 56 : 672-685, 2001.
- 2）宮本忠雄：躁うつ病者の妄想的ディスクール。宮本忠雄編：躁うつ病の精神病理2。弘文堂、東京、pp.1-29, 1977.
- 3）Pommier, G. : Louis du Néant : La mélancholie d'Althusser. Aubier, Paris, p. 256, 1998.
- 4）*ibid.*, p. 83.
- 5）阪上正巳：作品からみた音楽家の病跡—新ウィーン楽派と「分裂病性」。病跡誌, 44 ; 27-41, 1992.
12. 組み上がり10ページ（400字詰め原稿用紙にしておよそ40枚）まで無料、それを超えるときは印刷実費を投稿者の負担とする。
 13. 別刷は30部まで無料で作成（3頁以下のものは除く）、それ以上は希望部数（50部単位）により投稿者が実費を負担する。
 14. 原稿の送り先、投稿に対する問い合わせ等は〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16 金剛出版「日本病跡学雑誌」編集部宛とする。
 15. 著作権について
本誌に掲載された論文等の一部ないし全部の記載、複写およびインターネットを介するデータベースへの取り込みと公表に関する著作権および許諾権は、日本病跡学会に帰属する。